



平成22年度 研究テーマ

東京都環境科学研究所は、東京都の環境施策の展開に必要な科学的知見の提供等を目的に、東京都からの委託に基づき、環境の改善・向上に資する幅広い調査研究を実施しています。

平成22年度の主要な研究テーマは、以下のとおりです。

1	自動車の環境対策の評価に関する研究(H21～23年度)	最新の大型ディーゼル車、ガソリン車、ハイブリッド車等の排出ガス測定、分析などを行い、自動車の環境対策の効果等に関する研究を実施しています。
2	マテリアルフローに関する研究(H21～23年度)	資源循環型社会を目指すため、レアメタル(希少金属)等の有用金属の組成分析や廃プラスチック類のリサイクル効率性に関する研究を行っています。
3	大気中微小粒子に関する総合的研究(H20～22年度)	大気中微小粒子(PM2.5)の削減対策を検討するため、濃度測定や組成分析を行うとともに、大気モデルにより発生源寄与の推定や対策効果の予測に取り組んでいます。
4	光化学オキシダント対策の効率的な推進に関する研究(H22～24年度)	光化学オキシダントの原因物質である揮発性有機化合物(VOC)について、成分ごとの寄与割合や窒素酸化物(NOx)との関係を調べています。
5	有害化学物質の分析法・環境実態に関する研究(H20～22年度)	環境中に残留したり生物体内に蓄積するなど有害性の高い化学物質の分析法を検討します。またそれらの環境中の濃度を調査しています。
6	土壌等におけるダイオキシン類の発生源解析に関する研究(H20～22年度)	ダイオキシン類による汚染の発生について、その成分を詳細に分析すること等により汚染の原因やその発生メカニズムを調査しています。
7	生物生息環境・自然浄化機能に関する調査研究(H22～24年度)	東京湾の水環境改善対策の一環として、沿岸部の生物生息環境、自然浄化機能に関する調査研究を行っています。
8	緑によるヒートアイランド対策調査(H22～24年度)	緑によるヒートアイランド緩和効果等都市の熱環境改善効果について研究を行っています。



外部研究評価委員会

東京都環境科学研究所外部研究評価委員会が平成22年6月17日(木)に開催されました。当委員会は、環境に関する専門家5名で構成され、当研究所が実施する研究について、ご意見やアドバイスを頂き、研究員がより良い研究を進めるためのものです。評価は、「事前評価」、「中間評価」及び「事後評価」の3段階で行われます。

今回は、平成21年度に実施した研究のうち、終了研究3件の研究結果の事後評価と、継続研究6件の研究結果の中間評価を行いました。

平成21年度に終了した「うるおいのある水辺環境の回復に関する研究」では、『特定酵素法と公定法を比較検討し、大腸菌群数と大腸菌そのものを測定できる特定酵素法の有用性を明らかにし、大腸菌群数が意味する内容とその検討課題について取りまとめたことは評価できる。』『今後の測定法改良の必要性を指摘したことは、特に有用な研究成果といえる。』などの意見をいただきました。

評価結果は、研究所ホームページに掲載しています。

<http://www2.kankyo.metro.tokyo.jp/kankyoken/>